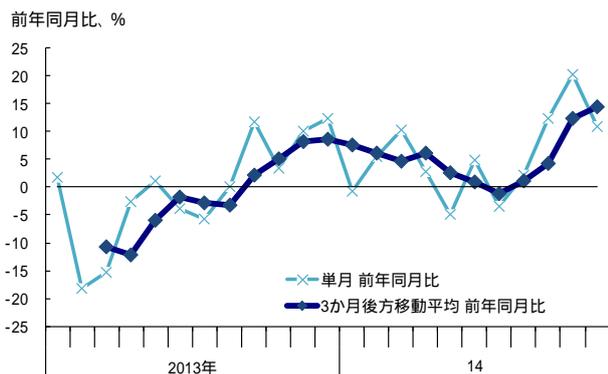


引していた iPhone 6 シリーズ向けの部品出荷に、ピークアウトの兆しが見られる。

- 電子部品関連企業や光学部品関連企業についても、売上高の増勢に頭打ち感がでている。電子部品関連企業 12 社の 11 月の売上高は前年同月比 1.6% 減と、2014 年 1 月以来、10 か月ぶりに前年同月を下回った。また、3 か月後方移動平均も同 2.5% 増と、前月の同 4.3% 増から伸び率を縮小させた（図表 4）。光学部品関連企業 6 社についても同様に、11 月の売上高は前年同月比 1.0% 減、3 か月後方移動平均値は同 9.2% 増となった（図表 5）。iPhone 6 シリーズのきょう体を手掛ける Catcher（電子部品関連企業）や、カメラレンズの Largen Precision（光学部品関連企業）は引き続き好調だが、やはり伸び率は縮小傾向にあり、iPhone 向け部品の増勢には一服感がでている。
- ただし、iPhone 6 シリーズの出荷台数自体は、当初見込み値から大きな変化はない模様であり、今回のピークアウトは既に見込まれていたものと推察される。よって、今後、iPhone 6 向け部品の出荷増勢が弱まる可能性は高いものの、大幅な在庫調整を懸念する必要は今のところないと考える。

図表 2 EMS の 11 月単月の伸び率は低下

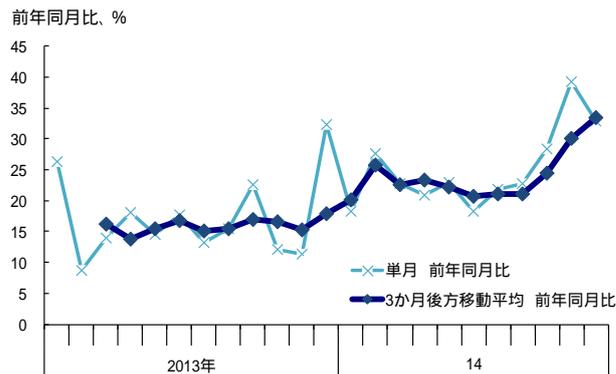
台湾EMS企業9社 月次売上高推移



注: 台湾EMS企業9社はTWSE(台湾証券取引所)に上場している代表的な企業を浜銀総合研究所が抽出。
出所: Taiwan Stock Exchange, M.O.P.S.より浜銀総合研究所作成

図表 3 半導体関連企業の増勢も鈍化の兆し

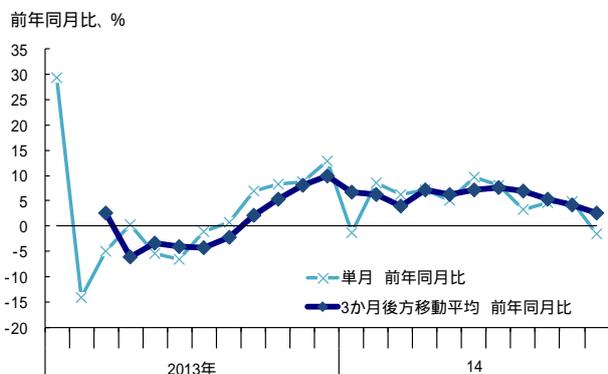
台湾半導体関連企業12社 月次売上高推移



注: 台湾半導体関連企業12社はTWSE(台湾証券取引所)に上場している代表的な企業を浜銀総合研究所が抽出。
出所: Taiwan Stock Exchange, M.O.P.S.より浜銀総合研究所作成

図表 4 電子部品は前年同月比マイナスに

台湾電子部品関連企業12社 月次売上高推移



注: 台湾電子部品関連企業12社はTWSE(台湾証券取引所)に上場している代表的な企業を浜銀総合研究所が抽出。
出所: Taiwan Stock Exchange, M.O.P.S.より浜銀総合研究所作成

図表 5 光学部品の増勢は頭打ち

台湾光学部品関連企業6社 月次売上高推移



注: 台湾光学部品関連企業6社はTWSE(台湾証券取引所)に上場している代表的な企業を浜銀総合研究所が抽出。
出所: Taiwan Stock Exchange, M.O.P.S.より浜銀総合研究所作成

中国スマートフォンメーカー向け部品に減速感

- ・また、半導体関連企業のうち、LSI 設計を行う3社の増勢も鈍化する傾向にある。11月の売上高は前年同月比 28.6%増となり、10月の同 50.8%増と比較すると伸び率が縮小した。また、3か月移動平均値でみた伸び率も下向きのトレンドにある(図表6)。
- ・増勢鈍化の背景には、中国スマートフォンメーカー向けに高シェアを有する Media Tek の売上高が伸び悩んでいることがある。中国スマートフォン市場では、韓国メーカーが価格競争を仕掛けるなど競争が激化している。中国端末メーカーの一部で、この競争激化を受けて生産調整を行っている模様であり、中国端末メーカー向けの出荷ウエイトの高い台湾の電子部品メーカーはこの影響を受けたと推察している。
- ・ただし、日系電子部品メーカーについては、端末のアップグレードシフト(高機能化)によるポジティブな影響が継続している模様で、足元で中国端末メーカーの生産調整による影響は出ていない模様である。

図表6 LSI 設計企業の増勢鈍化が続く

台湾LSI設計企業3社 月次売上高推移



注: 台湾LSI設計企業3社はTWSE(台湾証券取引所)に上場している代表的な企業を浜銀総合研究所が抽出。
出所: Taiwan Stock Exchange, M.O.P.S.より浜銀総合研究所作成

担当：調査部 産業調査室 山鹿 亜紀子
TEL 045-225-2375
E-mail: yamaga@yokohama-ri.co.jp

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。